

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

教育総務部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	01 特色ある就学前教育を推進する		
施策の展開	1. 教育内容の充実 3. 地域や家庭における教育力の向上		2. 教職員の資質能力の向上

基本方針	人格形成の基盤、学校教育の基礎となる力を培うため、認定こども園、幼稚園及び保育所との連携を図るなど、幼児の日々の生活、心身の発達及び学びの連続性を踏まえた質の高い就学前教育を推進します。また、地域や家庭における教育力の向上を支援します。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
就学前教育の内容に関して満足している市民の割合	47.4% (H26年度)	52.0%					53.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28	データ所管課等		
幼稚園の学級数・園児数	単年	119学級・2,280人	122学級・2,302人	119学級・2,246人	学務課		
各幼稚園で掲げる実践目標を達成している園の割合	単年度	85.0%	85.0%	85.0%	学校教育課		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
<p>※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●幼稚園運営に係る光熱水費の支払、文具類や教材等の購入、施設設備の修繕や遊具の管理、楽器調律、警備業務等、引き続き効率的・効果的かつ適正な運営管理に努めます。 ●幼稚園で使用しているコンピュータは、教育委員会系端末で、インターネット環境は有しているものの、サーバ機能がなく他部署とのデータ共有が困難です。一方、保育園では、市役所系端末で、職員ポータルシステムにより情報共有などの環境が整っています。 ●子ども・子育て支援新制度の下、幼保一元化を円滑に推進し就学前教育の質をより一層向上させる観点から、今後幼児教育士間で執務環境を統一することが望まれるため、今年度に市役所系端末に切替えて、職員ポータルシステムや内部管理システムの利用環境を整えます。

平成29年度施策評価【年度終了後】
<p>※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価</p> <p>進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」</p> <p>幼稚園の運営については、光熱水費の支払、文具類や教材等の購入、老朽化施設設備の計画的な修繕や遊具の管理等、適正な運営管理を行うことができました。</p> <p>また、幼稚園のコンピュータを市役所系端末に切り替え、職員ポータルシステムを導入したことにより、他部署との情報共有が容易にできる環境が整備できました。</p>

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

教育指導部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	01 特色ある就学前教育を推進する		
施策の展開	1. 教育内容の充実 3. 地域や家庭における教育力の向上		2. 教職員の資質能力の向上

基本方針	人格形成の基盤、学校教育の基礎となる力を培うため、認定こども園、幼稚園及び保育所との連携を図るなど、幼児の日々の生活、心身の発達及び学びの連続性を踏まえた質の高い就学前教育を推進します。また、地域や家庭における教育力の向上を支援します。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標

まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
就学前教育の内容に関して満足している市民の割合	47.4% (H26年度)	52.0%					53.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28		データ所管課等	
幼稚園の学級数・園児数	単年	119学級・2,280人	122学級・2,302人	119学級・2,246人		学務課	
各幼稚園で掲げる実践目標を達成している園の割合	単年度	85.0%	85.0%	85.0%		学校教育課	

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」

- 幼稚園、保育園、認定子ども園が核になり、保護者が子育てを通して親として成長する場や、地域の人々とのつながりの中で、地域の一人として活躍し成長できる仕組みを作り、地域総がかりで子供達を見守り育てるという意識の醸成を図ります。
- 質の高い教育を提供するために、加古川市就学前教育共通カリキュラムを活用し、各教育・保育施設での研修・保育実践を充実します。

平成29年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

- 進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
- ふれあい保育や子育て相談等の実施により、子育て中の保護者が交流する機会を増やしました。討論の場では積極的に質問したり意見を述べたりする参加者の姿も見られました。また、地域ボランティアや高齢者との交流から、地域についても目を向け、つながりをもとうとする意識が醸成できました。今後は、保護者自身の教育力向上につながるよう更なる支援に努めていきます。

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

教育総務部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	02 義務教育を充実する		
施策の展開	1. 教育内容の充実		2. 教職員の資質能力の向上

基本方針	変化の激しい時代を生き生きと主体的に生きていく基盤を培うため、一人一人の学ぶ意欲や学力を向上させ、豊かな心と健やかな体を育成する義務教育の充実を図ります。
------	---

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
義務教育の内容に関して満足している市民の割合	53.3% (H26年度)	54.9%					59.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28		データ所管課等	
小学校の学級数・児童数	単年	548学級・14,973人	544学級・14,750人	535学級・14,562人		学務課	
中学校の学級数・生徒数	単年	242学級・8,075人	240学級・7,899人	239学級・7,666人		学務課	
400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことが難しいと感じない児童・生徒の割合	単年度	31.8%	35.3%	38.4%		学校教育課	
運動やスポーツをすることが好きと感じている児童・生徒の割合	単年度	87.1%	87.1%	85.8%		学校教育課	

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
<p>※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小・中学校の運営管理については、光熱水費の支払、教材備品や学校図書の整備、施設設備の修繕や遊具の管理、警備業務など、適正な運営管理に努めます。 ●27年度の小学校に引き続き、28年度は中学校の教科書改訂年度であるため、教師が指導要領に基づき効果的かつ適正に授業を行えるよう教師用教科書、指導書等を購入し、義務教育の充実を図ります。

平成29年度施策評価【年度終了後】
<p>※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価</p> <p>進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」</p> <p>小・中学校の運営管理については、施設設備の老朽化に対応するため、計画的な修繕や遊具の管理を行い、適切な運営管理を実施しました。また、加古川市環境率先実行計画に基づき節電・節水意識の向上を図ることで光熱水費を抑えることができました。</p> <p>中学校の教科書改訂に伴い、教師用教科書・指導書等を購入し、義務教育の充実を図りました。</p>

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

教育指導部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	02 義務教育を充実する		
施策の展開	1. 教育内容の充実		2. 教職員の資質能力の向上

基本方針	変化の激しい時代を生き生きと主体的に生きていく基盤を培うため、一人一人の学ぶ意欲や学力を向上させ、豊かな心と健やかな体を育成する義務教育の充実を図ります。
------	---

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
義務教育の内容に関して満足している市民の割合	53.3% (H26年度)	54.9%					59.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28		データ所管課等	
小学校の学級数・児童数	単年	548学級・14,973人	544学級・14,750人	535学級・14,562人		学務課	
中学校の学級数・生徒数	単年	242学級・8,075人	240学級・7,899人	239学級・7,666人		学務課	
400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことが難しいと感じない児童・生徒の割合	単年度	31.8%	35.3%	38.4%		学校教育課	
運動やスポーツをすることが好きと感じている児童・生徒の割合	単年度	87.1%	87.1%	85.8%		学校教育課	

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部署における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」

- ことばの力総合推進事業では、「ことばの力」育成プログラムに基づく授業実践を支援するために、「ことばの力」配達人を各小学校に派遣し、思考力・判断力・表現力の向上を図ります。また、学力向上推進委員会を設置して、プログラムの検証と改善を継続するとともに、更なる学力向上施策の立案を目指します。
- 英語活動支援事業では、英語によるコミュニケーション能力の素地と基礎を養い、グローバル社会で活躍貢献できる人材の育成を目指して、保育所や幼稚園、小学校1年生からのALT配置を継続することで、コミュニケーション体験活動の充実を図ります。また、外国語活動担当や英語科の教員の指導力向上研修の更なる充実を目指します。
- 学校ウェルネス促進事業では、子どもたちが自分の健康に関心をもち、自ら進んで健康づくりに取り組む力を育成するため、小学5年生から中学3年生までの5年間、「かがわウェルネス手帳」を授業や校外活動等で継続的に活用します。
- 文化・体育活動推進事業では、小学校陸上記録大会、連合音楽会、美術展、書写展、理科作品展の開催や、中学校部活動における指導者支援及び対外試合、対外文化活動の参加助成を通して、文化・体育活動を推進します。
- 各種研修会で大学教授等から教育学的な裏づけに基づいた指導助言を受けるとともに、勤務時間外の自主研修の機会をつくることなどにより、喫緊の課題である若手教員の授業力の維持・向上を図ります。

平成29年度施策評価【年度終了後】

※各部署における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

- 進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
- ことばの力総合推進事業では、各中・養護学校に「ことばの力」配達人を派遣し、子どもの思考力・判断力・表現力等の向上のきっかけづくりを推進するとともに、「伝えあうこと」を中心に研究開発を進めた加古川中学校の取組成果の全市的な周知に努めました。また、これまでの取組の成果を踏まえ、「ことばの力」育成プログラムの改訂版を作成しました。
 - 英語活動支援事業では、小学5・6年生と中学校へのALT配置に加え、こども園・保育園や幼稚園、小学校1年生～4年生にもALTを派遣することで、就学前から中学校卒業までを通した各発達段階に応じた英語によるコミュニケーション能力育成の更なる向上を図ることができました。
 - 学校ウェルネス促進事業では、小学校5年生に「かがわウェルネス手帳」を配付し、効果的に活用する中で、児童生徒の健康や体力に関する意識の向上につながっています。今後、継続して手帳を活用することにより、更なる成果が期待されます。
 - 文化・体育活動推進事業では、大会や音楽会、各種作品展の開催を通して、スポーツや芸術に親しむとともに、学校間の交流を図ることができました。また、部活動において、外部技術指導者の派遣や大会等への参加助成等により、部活動の充実を図ることができました。
 - 研修内容の質を向上させることにより、受講者の満足度の高い研修講座・研修会を実施することができています。また、経験年数に応じた研修、急増している若手教員の研修の機会を充実させることにより、教職員の資質・指導力の向上を図ることに寄与しています。

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

教育総務部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	03 特別支援教育を充実する		
施策の展開	1. 教育内容の充実		2. 教職員の資質能力の向上

基本方針	障がいのある幼児・児童・生徒の自立や社会参加に必要な力を培うため、自らの能力や可能性を最大限に伸ばすことを目指した特別支援教育の充実を図ります。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
加古川養護学校における支援環境の充実の達成度	53.8% (H26年度)	66.5%					80.0%
特別支援教育の内容に関して満足している市民の割合	49.2% (H26年度)	53.9%					55.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28	データ所管課等		
特別支援学校の学級数・生徒数	単年	24学級・59人	27学級・63人	25学級・62人	学務課		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」

- 特別支援学校運営に係る光熱水費の支払、教材備品等の整備、施設設備の修繕やスクールバスの運行管理、警備業務等、引き続き効率的・効果的かつ適正な運営管理に努めます。
- 27年度の小学校に引き続き、28年度は中学校の教科書改訂年度であるため、特別支援学校の中学部を対象に教師が指導要領に基づき効果的かつ適正に授業を行えるよう必要な教師用教科書、指導書等を購入し、義務教育の充実を図ります。

平成29年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」

特別支援学校の運営管理については、光熱水費の支払、教材備品等の整備、施設設備の修繕やスクールバスの運行管理等、適正な運営管理を行いました。

また中学校の教科書改訂に伴い、教師用教科書、指導書等を購入し、義務教育の充実を図りました。

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	03 特別支援教育を充実する		
施策の展開	1. 教育内容の充実		2. 教職員の資質能力の向上

基本方針	障がいのある幼児・児童・生徒の自立や社会参加に必要な力を培うため、自らの能力や可能性を最大限に伸ばすことを目指した特別支援教育の充実を図ります。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
加古川養護学校における支援環境の充実の達成度	53.8% (H26年度)	75.0%					80.0%
特別支援教育の内容に関して満足している市民の割合	49.2% (H26年度)	53.9%					55.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28	データ所管課等		
特別支援学校の学級数・生徒数	単年	24学級・59人	27学級・63人	25学級・62人	学務課		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」

- 特別支援教育推進事業では、補助指導員を配置することで、学校行事や学習指導時の補助をしたり、心身障がい児(者)合同行事の補助や海外派遣を委託するなど教育的支援を行います。また、特別支援教育研修会を開催することで、教職員の特別支援教育に関する資質の向上、特別支援教育を推進します。
- 適正就学指導委員会運営事業では、適正就学指導委員会において、障がいのある子どもに対して、早期からの教育相談や、心理教育的アセスメント、専門家による審議及び判定会議により適正な就学を図るとともに、その後の一貫した教育的支援を行う体制作りを推進します。
- 自然体験推進事業では、加古川養護学校の児童生徒の自立と社会参加に向け、自然とのふれあいや集団活動などの経験を通じて、自立を目指した知識、技能、態度及び習慣を身につけさせるとともに、豊かな心や社会性を養います。
- 特別支援教育児童生徒サポート事業では、ADHD等により行動面で著しく不安定な児童や、その児童が在籍する学級の教育活動が円滑に行えるようサポートするために全小学校に配置しているスクールアシスタントを増員することで、特別な支援が必要な児童の心身の安定を図ります。

平成29年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」

- 学校園で、特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的かつ継続的な支援体制を推進することができました。また、センター的機能を有する加古川養護学校での幼小中高の一貫教育もさらに推進することができました。これにより、一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、特別な配慮を必要とする幼児、児童、生徒に有効な配慮を行うことにつながりました。
- 特別支援教育は、専門性を有する分野であるので、教職員の資質向上をめざして研修の機会を積極的に設けました。講師を招聘しての事例検討会やユニバーサルデザインの研究授業を中心とした特別支援教育コーディネーターへの研修、発達障害に関するスクールアシスタントや補助指導員へのスキルアップをねらいとした悉皆研修など、多くの機会を持つことができました。
- インクルーシブ教育システムの構築のため、さらに教職員の意識を高め、すべての子どもたちの相互理解の促進や豊かな人間性の育成をめざして、交流及び共同学習を推進していく必要があります。

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

教育総務部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	04 教育を支える環境を整備する		
施策の展開	1. 教育支援体制の充実 3. 高等学校、高等教育機関等との連携		2. 安全で快適な学習環境の整備

基本方針	<p>学校園においては、開かれた学校園づくりを推進するとともに、家庭、地域、学校園が連携・協力し、子どもたちの学びや育ちを支える環境の充実を図ります。また、社会環境の変化に対応し、高等学校、高等教育機関等との連携を促進します。</p>
------	---

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
教育を支える環境に関して満足している市民の割合	—	55.0%					向上
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28		データ所管課等	
不登校児童の割合(小学校)	単年度	0.27%	0.38%	0.39%		青少年育成課	
不登校生徒の割合(中学校)	単年度	2.13%	2.36%	2.41%		青少年育成課	
学校支援ボランティア活動延べ人数	単年度	69,769人	76,226人	76,425人		学校教育課	

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」

●学校施設の老朽化対策として、今後については、昭和56年以前に建築され、耐震補強のみ行った校舎58棟について、内装、内部設備、トイレを中心に、老朽化対策を進め、学習環境の向上に努めます。また、近隣住民からは、校庭庭植樹(高木)の落葉、倒木、ボール飛び出し、騒音等についての苦情も多く、個別の対応が求められています。

平成28年度は、小学校3校(氷丘小、東神吉小、平岡東小)と中学校2校(浜の宮中、山手中)について、老朽改修工事を進めます。また、前年度に引続き高木の剪定など、樹木の適切な管理に努めます。また、総合治水対策の一環として、平岡中学校校庭の雨水貯留施設整備を行い、併せてボール飛び出し対策も講じます。

●小中学校でのICT機器の導入については、従来から教育用並びに校務用のコンピュータ整備を行ってきました。文科省が策定した「教育のIT化に向けた環境整備4か年計画」や学習指導要領では、より一層の情報教育及び教科指導におけるICT活用の充実が求められています。

平成28年度は、教育用、校務用コンピュータの更新のほか、普通教室で効果的な授業づくりに役立つ、電子黒板機能付のプロジェクターと書画カメラを増設します。今後も、文科省の計画を参考に学校現場のニーズを把握しながら、優先順位をつけ整備を行います。

●中学校給食について、市民の期待が高まっており、完全実施に向け準備や調整を行っていきます。新中学校給食センターの設置については、主食を含めた献立や使用する食器の検討、建設に係る整備方針の策定、各関係機関との調整などを行います。また、平成30年度給食開始予定の両荘中については、配膳室の設置に係る設計を行います。

●給食業務関連については、長期間使用し、老朽化している調理機器や、小荷物専用昇降機を順次更新していきます。また、調理場の衛生環境を改善するため、現状を把握するとともに、ドライ施設や空調など衛生上適切な調理場のあり方について検討します。

●本市に居住する者の教育に資する外国人学校を設置するものに対し助成を行う「私学振興助成事業」や、市内の私立幼稚園3園に対し、4・5歳児の園児数に基づき助成を行う「私立幼稚園助成事業」は、国及び他市の動向、私立幼稚園の子ども・子育て支援制度への移行状況等に注視しながら、適正な事業の実施に努めます。

平成29年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」

●平成28年度に予定していた小学校3校、中学校2校の老朽改修工事は全て完了し、より良い学習環境を整備することができました。また、平岡中学校校庭の雨水貯留施設整備は、運動場全体の更新を含めて実施したため、総合治水対策としての側面だけでなく、学習環境の向上にも寄与することとなりました。

●近隣住民からの指摘を受けている落葉被害やボールの飛び出し等については、高木の剪定や防球ネットの修繕等を行い、対応を進めています。

基本 目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	04 教育を支える環境を整備する		
施策の 展開	1. 教育支援体制の充実 3. 高等学校、高等教育機関等との連携	2. 安全で快適な学習環境の整備	
<p>●平成28年5月に校舎の一斉点検を実施したところ、外壁の老朽化が著しいことから、緊急性のより高い外壁改修を優先する必要が生じました。今後の学校施設の老朽化対策としては、外壁の劣化がみられる校舎やトイレを中心に老朽化対策を進め、学習環境の向上に努めます。</p> <p>また、校庭植樹(高木)の落葉、倒木、ボール飛び出し、騒音等の近隣住民からの指摘についても、引き続き個別対応を継続していきます。</p> <p>●小中学校におけるICT機器の導入については、計画的な教育用・校務用コンピュータの更新を実施しました。また、普通教室においては、効果的な授業づくりに役立つ電子黒板機能付のプロジェクターと書画カメラを増設しました。</p> <p>●中学校給食の完全実施に向けて、懇話会を開催し、献立や使用する食器の検討を行いました。また、新給食センターの建設に向けて、建設予定地のインフラ状況や測量などの調査及び各関係機関と調整を行いました。(仮)日岡山学校給食センターではDBO方式を決定し、発注支援業務委託事業者を選定し、両荘中の開始準備として配膳室の設計を行いました。</p> <p>●老朽化している調理機器の更新を計画通り行いました。また、小荷物専用昇降機を1基改修しました。調理場の衛生環境の改善については、ドライ施設や空調などは、施設の状況や予算など課題が多くあるため、引き続き検討を続けます。</p> <p>●本市に居住する者の教育に資する外国人学校や、市内の私立幼稚園3園に対し、助成を行いました。</p>			

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

教育指導部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	04 教育を支える環境を整備する		
施策の展開	1. 教育支援体制の充実 3. 高等学校、高等教育機関等との連携		2. 安全で快適な学習環境の整備

基本方針	学校園においては、開かれた学校園づくりを推進するとともに、家庭、地域、学校園が連携・協力し、子どもたちの学びや育ちを支える環境の充実を図ります。また、社会環境の変化に対応し、高等学校、高等教育機関等との連携を促進します。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
教育を支える環境に関して満足している市民の割合	—	55.0%					向上
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28		データ所管課等	
不登校児童の割合(小学校)	単年度	0.27%	0.38%	0.39%		青少年育成課	
不登校生徒の割合(中学校)	単年度	2.13%	2.36%	2.41%		青少年育成課	
学校支援ボランティア活動延べ人数	単年度	69,769人	76,226人	76,425人		学校教育課	

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」

- いじめや不登校、あるいは自殺等の未然防止、早期発見・早期対応を図るため、全小中学校でアンケート調査を実施するとともに、子どもを育成する観点から課題に応じた教職員研修を実施し、教職員の資質向上を目指します。また、教育相談体制を充実させ、子どもや家庭を支援します。さらに、各中学校区にスクールソーシャルワーカーの配置を推進し、学校、家庭、関係機関のネットワークの構築により、福祉的な視点から子どもの置かれた環境に効果的に働きかけ、課題の解決を図ります。
- 中学校区連携ユニット12推進事業では、各中学校区への支援を続けながら、子どもたちが学習成果を発表する機会を増やし、全学的取組への充実を図るとともに、学校園支援ボランティアにおける地域コーディネーターを全ユニットへ配置して、学校園の教育活動を支援します。また、保・幼・小・中のタテの連携の充実を目指して、知・徳・体に関するカリキュラム連携推進モデルユニットの指定研究を推進します。
- いのちと心サポート教育研究事業では、子どもたちが楽しく学校生活を過ごせるよう、ユニット12を活用したキャリア教育や、情報モラルに関する教育、防災教育を含めたいのちの教育、心の健康教育等について、ユニット単位での指定研究を継続します。
- 心の絆プロジェクト事業では、「心の絆宣言」をもとに、各学校の生徒会・児童会による自主的な活動を通して、児童生徒の居場所作りや仲間づくりを進め、誰もが行きたくなる学級・学校づくりを目指します。また、各中学校区ごとに、宣言に関係するテーマを設定した活動を展開します。
- 外国人児童生徒支援事業では、県の「子ども多文化共生サポーター派遣事業」を引き継ぎ、日本語指導が必要な外国人児童・生徒に対して、学習指導や進路指導、母語による学習機会の提供等の支援を実施します。

平成29年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

進捗状況	「B 概ね期待どおり」
<p>●児童生徒の実態を把握するためのアンケートの有効活用や教職員研修の実施、及び相談体制の充実により、増加傾向にあった不登校率の伸びを抑えることができ、学校生活に不応を起している児童生徒への早期対応と適切な支援を行うことができました。</p> <p>●中学校区連携ユニット12推進事業では、カリキュラム連携推進モデルユニットの指定などにより、大変効果をあげています。また、全ユニットに地域コーディネーターが配置されていることにより、充実した取組につながっています。今後は、各ユニットの特色に応じてモデルユニットを指定するなど、地域総がかりの教育の推進に向けた取組を、さらに充実させていく必要があります。</p> <p>●いのちと心サポート教育研究事業では、いじめ問題や防災教育、心の健康教育等の喫緊の教育課題を、ユニット単位で研究を進め、その成果を各ユニットに広げています。</p> <p>●心の絆プロジェクト事業では、各学校における生徒会・児童会の活動が充実してきており、その取組を加古川教育フォーラムで発表し、他の学校へ広げ、さらに充実した活動につなげています。また、学校単位の取組だけでなく、小・中学校が連携した取組も増え、さらにつながりのある活動になることが期待されます。</p> <p>●外国人児童生徒サポート事業では、外国人児童生徒サポート員が、外国人児童生徒と教職員や全ての児童生徒とのコミュニケーションの円滑化を促すと同時に学習時の支援を行うことで、学校生活への早期適応、学習機会の保障、全ての児童生徒の共生の心の育成につながっています。</p>	

加古川市施策評価シート
 (平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

教育指導部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	02 地域における教育・学習環境を整備する
施策	01 生涯学習を推進する		
施策の展開	1. 生涯学習推進体制の充実 3. 社会教育施設の充実		2. 生涯学習内容の充実

基本方針	市民の生涯にわたる学習活動を支援するとともに、市民が習得した知識や技能を社会や地域に生かせる環境を整えるなど、生涯学習を推進します。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標

まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
生涯学習機会や学習環境に関して満足している市民の割合	52.7% (H26年度)	58.9%					58.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28		データ所管課等	
公民館利用人数	単年	1,134,602人	1,090,427人	1,054,918人		社会教育・スポーツ振興課	
市民一人あたりの公民館利用回数	単年度	4.2回	4.1回	3.9回		社会教育・スポーツ振興課	
市民一人あたりの図書貸出冊数	単年度	6.2冊	6.3冊	5.7冊		中央図書館	

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」

●子どもの読書環境を整備するため、第2次「加古川市子どもの読書活動推進計画」に沿った取り組みを進めます。また、従来の書籍を基本としつつも、利用の選択肢を増やし、来館困難な人にも対応できるように、電子図書館システムを導入します。

平成29年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」

●図書館では平成28年度より、第2次「加古川市子どもの読書活動推進計画」に沿った取り組みを実施し、実施計画の概ね70%を達成しました。また、電子図書館システムを7月に導入し、年度末(約9ヶ月)の資料数は1,096点、利用点数は5,529点でした。利用点数は、県下で電子図書館システムを導入している6市のうち最多の利用数となっています。

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

教育指導部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	02 地域における教育・学習環境を整備する
施策	02 地域総がかりで青少年の健全な育成を図る		
施策の展開	1. 家庭や地域における教育力の向上 3. 青少年への支援体制の充実	2. 青少年育成環境の向上	

基本方針	家庭や地域における教育力の向上を支援するとともに、家庭、地域、学校園などが連携・協力し、青少年の学びや育ちを支え、心身の健全な成長を促します。
------	---

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
青少年の健全な育成に関して満足している市民の割合	42.8% (H26年度)	46.2%					50.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28	データ所管課等		
地域(小学校区・町内会)での多世代交流イベントの実施割合	H23年度からの平均値	81.5%	83.9%	86.3%	社会教育・スポーツ振興課		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
<p>※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 青少年の問題行動の未然防止、早期発見、早期対応に向け、家庭・地域・学校・関係機関等とのさらなる連携を図るとともに、青少年や保護者、学校が抱える不安や悩みに対する相談・支援体制を充実させます。また、市民に青少年健全育成への取組の理解と青少年問題への市民意識の高揚に努めます。 ● H27年度において、自然学校を当施設で実施する市内小学校は9校しかなく、宿泊棟の利用も減少傾向にあります。加古川市の自然を地域の子も達に知ってもらうため、保護者の経済的負担軽減などを図るためにも市立小学校の利用を促進する必要があります。 ● また、子ども達の成長に自然とのふれあい体験は欠かせないものであるため少年団等の利用増も併せて促進します。 ● 現在市内の小学校5年生の自然学校や中学1年生の新入生宿泊訓練の場として利用されています。空調設備の修理が必要な箇所が出ているほか、宿舎は山の斜面に建てられており、車椅子の子どものためにはトイレや風呂など移動が困難であるため、宿泊棟のバリアフリー化を推進します。また、平成8年に購入した大型天体望遠鏡について、鏡面の研磨を行い天体プログラムに支障をきたさないようにします。 ● また空調機、水周りや、正門等施設の傷みが進んでおり、営繕住宅課に改修を依頼していきます。

平成29年度施策評価【年度終了後】
<p>※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価</p> <p>進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 家庭・学校・地域社会及び関係機関の緊密な連携のもと、青少年の健全育成及び支援体制の強化を図るため、加古川市青少年育成連絡協議会において、「こどもを守る110番の家」の啓発、青少年健全育成啓発キャンペーン・加古川まつり特別補導パトロール等を実施しました。 ● 青少年育成連絡協議会で、市民への青少年健全育成への理解及び啓発に努め、全12中学校区での校区大会(参加者3,072名)及び、全市大会(参加者601名)を開催しました。 ● 平成28年度において自然学校を少年自然の家で実施した市内小学校は6校しかなく、また、少年団等の利用率も向上していないため、今後も引き続き少年自然の家の利用促進に向けてPR活動等を行います。 ● 車椅子を利用する子ども達が自由に宿泊室に出入りできるよう、バリアフリー化の一環として宿泊棟の一室の出入口にスロープ及び同室内にトイレを設置しました。今後も更なるバリアフリー化を図っていきます。また、大型天体望遠鏡については、鏡面の研磨等を行い設置当時の明るさを取り戻しました。 ● 老朽化した施設及び設備につきましては、引き続き改修を実施していきます。

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

協働推進部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	03 スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01 スポーツ・レクリエーション活動を推進する		
施策の展開	1. スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進		2. スポーツ・レクリエーション施設の整備・活用

基本方針	市民の誰もが、生涯にわたり、年齢、体力、技術に応じて、スポーツ・レクリエーションを楽しめる環境の充実に努めます。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標

まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
スポーツ・レクリエーションの活動の機会提供に関して満足している市民の割合	51.6% (H26年度)	61.4%					58.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28	データ所管課等		
体育施設利用者数	単年度	735,069人	777,160人	809,954人	ウェルネス推進課		
加古川ツデーマーチ参加者数	単年	8,026人	7,465人	8,258人	ウェルネス推進課		
加古川マラソン参加者数	単年	5,639人	5,199人	5,516人	ウェルネス推進課		
週1回以上スポーツをしている20歳以上の市民の割合	単年度	—	—	48.2%	社会教育・スポーツ振興課		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」
<p>1. スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進</p> <p>●従来から実施しているスポーツイベント等を継続的に開催するとともに、市民が気軽にスポーツに親しむための情報提供を効果的に行い、スポーツを通じたウェルネスライフの支援に取り組みます。</p> <p>2. スポーツ・レクリエーション施設の整備・活用</p> <p>●体育施設の多くは老朽化が進んでいるので、効果的な修繕に努めながら安全・安心に施設が利用できるように環境を整備します。また、指定管理者が主催する自主事業等をより一層推進し、幅広い市民ニーズに対応できるようメニューの充実に取り組みます。</p>

平成29年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価
進捗状況 : 「A 期待どおり」
<p>1. スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進</p> <p>●加古川ツデーマーチ、加古川マラソン大会の開催等、市民が身近に参加できるスポーツ・レクリエーション活動を推進しました。また、広報紙、ホームページに加えてSNSも活用することにより、情報提供の幅を広げました。</p> <p>2. スポーツ・レクリエーション施設の整備・活用</p> <p>●体育施設の老朽化については限られた予算の中で、優先順位を決め効果的な修繕を行うことができました。また、モニタリング等を通じて指定管理者に幅広い市民ニーズに応えるよう事業の充実にについて要請しました。</p>

加古川市施策評価シート
 (平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

環境部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	03 スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01 スポーツ・レクリエーション活動を推進する		
施策の展開	1. スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進		2. スポーツ・レクリエーション施設の整備・活用

基本方針	市民の誰もが、生涯にわたり、年齢、体力、技術に応じて、スポーツ・レクリエーションを楽しめる環境の充実を図ります。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標								
まちづくりの指標		総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
スポーツ・レクリエーションの活動の機会提供に関して満足している市民の割合		51.6% (H26年度)	61.4%					58.0%
その他の関連指標		表記	H26	H27	H28		データ所管課等	
体育施設利用者数	単年度		735,069人	786,130人	809,954人		ウェルネス推進課	
加古川ツーデーマーチ参加者数	単年		8,026人	7,465人	8,258人		ウェルネス推進課	
加古川マラソン参加者数	単年		5,639人	5,199人	5,516人		ウェルネス推進課	
週1回以上スポーツをしている20歳以上の市民の割合	単年度		—	—	48.2%		社会教育・スポーツ振興課	

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】	
※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」	
【現状と課題】	
●グランドゴルフ場の利用者数が増加してはいますが、まだ施設に余裕があります。	
●ゲートボール場の利用がありません。	
【平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)】	
●利用者増加のため市の広報やホームページで施設の内容をPRします。	
●利用料金、ゲートボール場の活用方法等を検討します。	

平成29年度施策評価【年度終了後】	
※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価	
進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」	
●グランドゴルフ場の利用者増加のためにホームページで施設の内容をPRしておりますが、年間利用者数については、2千数百人で推移しています。今後は、新たな利用者の掘り起こしのために様々な工夫が必要と思われます。	
●利用料金については、より多くの人に利用してもらえるよう、近隣の施設の利用料金も参考にしながら、グランドゴルフ場使用料の値下げとゲートボール場については多目的広場としての活用を次年度から実施する予定でしたが、市の施設について全庁的に使用料の見直しを予定していることから現在、保留状態にあります。	

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

教育指導部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	03 スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01 スポーツ・レクリエーション活動を推進する		
施策の展開	1. スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進		2. スポーツ・レクリエーション施設の整備・活用

基本方針	市民の誰もが、生涯にわたり、年齢、体力、技術に応じて、スポーツ・レクリエーションを楽しめる環境の充実を図ります。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標

まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
スポーツ・レクリエーションの活動の機会提供に関して満足している市民の割合	51.6% (H26年度)	61.4%					58.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28	データ所管課等		
体育施設利用者数	単年度	735,069人	777,160人	809,954人	ウェルネス推進課		
加古川ツーデーマーチ参加者数	単年	8,026人	7,465人	8,258人	ウェルネス推進課		
加古川マラソン参加者数	単年	5,639人	5,199人	5,516人	ウェルネス推進課		
週1回以上スポーツをしている20歳以上の市民の割合	単年度	—	—	48.2%	社会教育・スポーツ振興課		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」

- 加古川市スポーツ振興基本計画(H20～H29)の目標年次が1年後に迫る中、数値目標の達成度合い及び市民のスポーツに関する現状を把握することが必要です。このため、成人市民に対し意識調査を行い、その結果を分析して現状把握を行うことにより、目標達成度合いを掌握するとともに、次期基本計画の基礎資料として役立てていきます。
- 平成29年3月に全国高等学校女子ソフトボール選抜大会が当市で開催される予定ですが、招致や運営には多額の費用が必要です。この大会を開催することは、間近で全国トップクラスの技術を観戦する機会を市民に提供することができ、このことがソフトボールへの関心を高め、ひいては市民の生涯スポーツの振興並びに競技力の向上に寄与すると考えられます。このことから、本大会の円滑及び効果的な開催を目的として市から補助金を交付します。
- 加古川市体育協会には、現在28の種目協会約14,000人が所属しており、各種目協会が競技力の向上や競技人口の拡大に向けて様々な活動を行っています。この体育協会の組織力や各種目協会の活動を鑑み、スポーツ振興政策の一部については、市が単独で実施するよりも、体育協会がその業務を担ったほうが効率的です。このため、優秀選手等表彰及び国体激励、各種目協会自主事業の一部について市から補助金を交付します。
- 施設の傷んでいる所を修繕していく必要があり、野外活動センターで利用者が使用する機器等(糸のこ、ポート)が痛んでいるため修繕します。また平成5年に完成した工作館の空調機が、正常に可動しなくなったため、全面的に入れ替えます。
- そのほか宿泊館、工作館のアプローチの床の張替え、宿泊館の空調機の入替、野外活動センター内に2箇所ある屋外トイレの整備、野外活動センターへの進入路の整備等が必要なため営繕住宅課に依頼していきます。

平成29年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」

- 次期計画策定に必要な数値目標の達成度合い及び市民のスポーツに関する現状を把握するため、成人市民3,000名に対して、意識調査を行いました。分析した結果を踏まえ、次期計画の策定を進めていきます。
- 平成29年3月17日～22日に第35回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会が加古川河川敷、日岡山公園野球場にて開催され、応援者を含め約5,000人の参加がありました。間近で全国トップクラスの観戦機会を提供することができ、ソフトボールへの関心を高めたほか、市民の生涯スポーツの振興並びに競技力の向上に寄与しました。
- 加古川市体育協会では、優秀選手・チーム表彰式、国体出場者激励会のほか各種目協会が自主事業を行い、競技力の向上や競技人口の拡大に向けて活動しました。
- 工作館利用者が使用する「電動糸のこ」の劣化部品をすべて交換しました。また工作館の空調機につきましても全面的に入れ替えました。
- 宿泊館、工作館のアプローチの床の張替えについては、平成29年度に実施します。

加古川市施策評価シート
 (平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

秘書室

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	03 スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02 豊かな文化・芸術をはぐくむ		
施策の展開	1. 歴史資源の保存と活用 3. 国際交流の推進		2. 文化・芸術活動の促進

基本方針	歴史、風土に培われた地域の文化を守りながら、多様な文化・芸術に対する市民の理解や主体的な活動を促進するとともに、多様な文化への理解を深める国際交流を推進し、豊かな文化・芸術の創造に向けた環境を整えます。
------	---

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
文化・芸術に接する機会提供に関して満足している市民の割合	47.4% (H26年度)	59.5%					52.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28	データ所管課等		
指定文化財数	単年度	117件	119件	120件	文化財調査研究センター		
主な文化施設の利用者数(市民会館、総合文化センター)	単年度	265,267人	347,437人	385,805人	ウェルネス推進課		
外国人住民数	各年12月末日現在の値	2,496人	2,483人	2,520人	市民課		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
<p>※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民と外国人との交流は、国際交流センターを中心に行っていますが、当センターは建築してから25年が経過し、施設・設備の老朽化が見られます。よって、計画的な維持補修計画による修繕等を実施し、将来にわたって来館者が安心して利用できる施設管理を行います。 ●公益財団法人加古川市国際交流協会を通じて、市民による様々な国際交流活動を支援するとともに、各種イベントや生涯学習活動等を活用し、市民と外国人との交流を促進しています。平成28年度は、より多くの市民等が国際交流活動を行うことができるよう、市の広報紙や国際交流協会のホームページを活用して各種イベント等をPRします。 ●国際交流協会を通じて、関係機関や市民ボランティアとの連携を図りながら、外国人住民からの様々な相談に対応しており、平成28年度も引き続き国際交流協会を通じて対応します。 ●国際交流協会を通じて、外国からの訪問団の受入れや派遣団の派遣などにより姉妹都市等との交流を促進しており、平成28年度も引き続き国際交流協会を通じて姉妹都市等との交流を促進します。

平成29年度施策評価【年度終了後】
<p>※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価</p> <p>進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国際交流センターは竣工から26年が経過し、老朽化が進んでいるが、清掃等の日常業務に加えて、定期点検により修繕が必要な箇所を早期発見、改修することで、利用者の利便性の確保と中長期的な維持管理コストの低減につなげることができました。 ●市の広報紙や国際交流協会のホームページで引き続き、国際交流協会が実施する事業をPRしました。また、市内小学校での国際交流事業実施など、様々な市民等が国際交流活動を行うことができる機会を提供しました。 ●協会広報紙でのボランティア登録のPRやボランティア養成講座の実施等により、外国人住民からの様々な相談に対応していただき、ボランティア登録数を増やすことができました。 ●外国からの訪問団受入や派遣団の派遣などにより姉妹都市等との交流を促進しました。

加古川市施策評価シート
 (平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

協働推進部

基本 目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	03 スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02 豊かな文化・芸術をはぐくむ		
施策の 展開	1. 歴史資源の保存と活用 3. 国際交流の推進		2. 文化・芸術活動の促進

基本 方針	歴史、風土に培われた地域の文化を守りながら、多様な文化・芸術に対する市民の理解や主体的な活動を促進するとともに、多様な文化への理解を深める国際交流を推進し、豊かな文化・芸術の創造に向けた環境を整えます。		
----------	---	--	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標								
まちづくりの指標		総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
文化・芸術に接する機会提供に関して満足している市民の割合		47.4% (H26年度)	59.5%					52.0%
その他の関連指標		表記	H26	H27	H28		データ所管課等	
指定文化財数	単年度		117件	119件	120件		文化財調査研究センター	
主な文化施設の利用者数(市民会館、総合文化センター)	単年度		265,267人	347,437人	385,805人		ウェルネス推進課	
外国人住民数	各年12月末日現在の値		2,496人	2,483人	2,520人		市民課	

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」
2. 文化・芸術活動の促進 ●文化施設の利用者数は一定を推移していますが、今後、新しいニーズを確保し利用者数の増加に努められるよう、指定管理者の主催事業を効果的に実施します。また、総合文化センターでは、平成26年度からアドバザリーボードを設置し、学識経験者や教育関係者のほか、利用者代表からのご意見等を頂戴しながら施設の管理運営を行っています。平成28年度は、これらのご意見等を活かした取り組みをより一層推進し、地域の文化振興の普及と促進に努めます。

平成29年度施策評価【年度終了後】
※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価
進捗状況 : 「A 期待どおり」 2. 文化・芸術活動の促進 ●文化施設においては、指定管理者の事業の拡充により利用者が増加しました。また、総合文化センターではアドバザリーボードの意見を取り入れ新規事業であるロビーコンサート等を行いました。これらにより平成28年度は、地域の文化振興の普及と促進を目的とした効率的かつ効果的な指定管理者による施設の管理運営ができました。

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

教育指導部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	03 スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02 豊かな文化・芸術をはぐくむ		
施策の展開	1. 歴史資源の保存と活用 3. 国際交流の推進		2. 文化・芸術活動の促進

基本方針	歴史、風土に培われた地域の文化を守りながら、多様な文化・芸術に対する市民の理解や主体的な活動を促進するとともに、多様な文化への理解を深める国際交流を推進し、豊かな文化・芸術の創造に向けた環境を整えます。
------	---

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
文化・芸術に接する機会提供に関して満足している市民の割合	47.4% (H26年度)	59.5%					52.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28	データ所管課等		
指定文化財数	単年度	117件	119件	120件	文化財調査研究センター		
主な文化施設の利用者数(市民会館、総合文化センター)	単年度	265,267人	347,437人	385,805人	ウェルネス推進課		
外国人住民数	各年12月末日現在の値	2,496人	2,483人	2,520人	市民課		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」

- 加古川市の歴史資源である埋蔵文化財について、開発に伴う埋蔵文化財調査を実施し、埋蔵文化財の保護又は記録保存を行っていきます。
- 雁戸井土地改良区ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財調査については、事業者である兵庫県加古川流域土地改良事務所及び地元との調整を図りながら、確認調査及び本発掘調査を実施し、歴史資源である埋蔵文化財の保護又は記録保存を行っていきます。
- また、市の公共工事等に伴う埋蔵文化財調査については、事業担当部局と調整を図りながら、確認調査及び試掘調査を実施していきます。
- 加古川市指定文化財については、文化財審議委員会の指導のもと、市指定文化財に相応しい文化財の指定を順次行っていきます。
- 歴史資源に対する認識を高めるため、文化財講座の開催や文化財ニュースの発行を通じて、情報発信を行っていきます。
- 歴史資源の保存と活用を図るため、本岡家住宅の公開を実施するとともに、茅葺屋根の修理を行います。
- 西条古墳群史跡整備事業のうちの人塚古墳整備事業については、平成28年度の事業完了を目指して事業を推進し、史跡の整備、公開に努めていきます。

平成29年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

- 進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
- 埋蔵文化財保護のため、宅地造成や住宅建設、市道建設などの届出に対して確認調査などを実施し、溝之口遺跡などで遺構・遺物を確認しました。
 - 記録保存の必要な雁戸井地区のほ場整備事業及び中道子山城跡の無線塔設置に伴うもの3件について、本発掘調査を実施しました。
 - 加古川町大野の常楽寺にある石造十三重塔を新たに市指定文化財に指定しました。
 - 地域の歴史や文化財についての理解を深めるため、文化財講座を3回開催し、延べ207名の参加がありました。また、「文化財ニュース」を発行して、調査状況の報告や最新情報を提供しました。
 - 県指定文化財の本岡家住宅について、文化財保護強調月間(11月)や少年自然の家無料散策日に建物の内部を特別公開しました。また、傷みの目立っていた茅葺屋根を修理しました。
 - 西条古墳群史跡整備事業について、人塚古墳の整備工事を実施し、また、人塚古墳発掘調査報告書、史跡整備事業報告書を刊行するなど、長年に及んだ事業が完了しました。

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

市民部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	04 互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
施策	01 人権文化を確立する		
施策の展開	1. 人権教育・啓発の総合的推進		2. 人権教育・啓発・相談体制の充実

基本方針	市民一人一人が人権意識を高め、日常生活の中でお互いの人権を尊重し、ともに生きる社会の実現を目指します。
------	---

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
人権教育や人権啓発の推進に関して満足している市民の割合	54.2% (H26年度)	62.8%					61.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28	データ所管課等		
人権講演会等の参加者数	単年度	3,971人	4,908人	4,981人	人権文化センター		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
<p>※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」</p> <p>「現状と課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●互いの人権が尊重される社会の実現を目指し、人権教育・啓発活動に取り組んでいるところですが、講演会等への参加者の固定化や高齢化が進んでいます。 ●引き続き、より多くの市民に人権に関する学習・啓発の機会を提供していくことはもとより、幅広い年齢層の方に積極的に参加を促していく必要があります。 <p>「施策実行プラン」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●研修会や講演会の開催にあたっては、子どもから高齢者まで、幅広い年齢層の方が関心を持って参加できる内容を検討します。 ●人権教育・啓発は堅苦しい印象もあるので、気軽に参加してもらえるようアプローチする手法を検討します。

平成29年度施策評価【年度終了後】
<p>※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価</p> <p>進捗状況 : 「A 期待どおり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人権を尊重するまちづくりのきっかけとなるよう、人権に関する映画を鑑賞する「かがわハートフルフェスタ」を8月11日に市民会館で開催しました。開催にあたり、今回から親子で一緒に参加できるよう、夏休みに開催するとともに、内容もディズニー映画の「ベイマックス」を上映し、併せて兵庫大学の学生による絵本の読み聞かせを行いました。 当日は親子連れだけではなく、3世代で来場される家族も多く幅広い年齢層の参加がありました。 参加者数も27年度の361人から576人に増加し、また、9割以上の人が「よかった」との評価であり、次回も参加したいとの意見も多くありました。 ●音楽やトークなどの明るく親しみやすい雰囲気の中で人権を考える機会として、「ウインターステージ」を2月18日に人権文化センターで開催しました。 当日は落語家の笑福亭鶴笑さんを講師に迎え、「誰も傷つかない本当の笑～難民の子ども達を笑顔にするために」との演題で、海外の難民キャンプでの経験談や本業の落語で笑いを取り入れながら講演を行いました。参加者数も27年度の111名から205名に増加し、また、アンケートでも9割以上の方から、今後も「ウインターステージ」を続けるべきであるという意見をいただきました。

加古川市施策評価シート
 (平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

協働推進部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	04 互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
施策	02 男女共同参画社会の形成を推進する		
施策の展開	1. 男女共同参画社会の実現に向けた啓発の推進 2. 男女共同参画社会の実現に向けた制度の整備・運用		

基本方針	男女共同参画の意識醸成と環境づくりを推進し、市民一人一人が性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目指します。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
男女共同参画の啓発に関して満足している市民の割合	48.8% (H26年度)	58.7%					52.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28	データ所管課等		
審議会等への女性の参画率	単年度	34.3%	33.3%	29.2%	男女共同参画センター		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」 ●平成28年度を初年度とする「第4次男女共同参画行動計画」に基づき、「配偶者等からの暴力対策基本計画」とも連携し、取組をさらに実効性のあるものとするため、関連事業の進捗状況を積極的に公開します。 ●女性活躍推進法の施行にあわせ、女性の社会進出や多様な働き方に対応するための就業支援事業の拡充とともに、継続的な支援を図ります。 ●ワーク・ライフ・バランスの効果的な啓発と浸透を図るため、庁内関係部署及び関係機関と連携し、事業者向けの普及啓発事業を実施します。 ●テーマや参加対象を絞るなど効果的な事業実施とあわせ、子育て世代をはじめ若年層向けにホームページやSNSなど可能な媒体を活用した継続的な啓発を図ります。 ●男女共同参画に関連する自主活動グループの育成・支援を図ります。

平成29年度施策評価【年度終了後】
※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価 進捗状況 : 「A 期待どおり」 ●子育て中の母親の就労機会の創出に向け、地方創生に係る交付金を活用し、ヤマトヤシキ5階にママスクエア加古川店を整備するための費用を補助しました。 ●就業支援事業として、クラウドソーシングの体験セミナーを稲美町・播磨町との広域連携により開催しました。 ●ワーク・ライフ・バランスの効果的な啓発と浸透を図るため、商工会議所との共催により、事業所向けに、さまざまな制度の活用策や先進企業の取組状況等を紹介するセミナーを開催しました。 ●男性の家庭参画促進や女性の新たな就労機会の創出に向けたセミナーを開催するとともに、SNSの活用やターゲットを絞った効果的な広報とあわせ、セミナーの休日開催等により受講機会を拡大しました。 ●「まちづくり講座」においては、受講者による自主活動グループの結成に至り、自主講座の企画運営や、市との協働による啓発など活発な活動につながっています。

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

こども部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	04 互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
施策	02 男女共同参画社会の形成を推進する		
施策の展開	1. 男女共同参画社会の実現に向けた啓発の推進 2. 男女共同参画社会の実現に向けた制度の整備・運用		

基本方針	男女共同参画の意識醸成と環境づくりを推進し、市民一人一人が性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目指します。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標								
まちづくりの指標		総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
男女共同参画の啓発に関して満足している市民の割合		48.8% (H26年度)	58.7%					52.0%
その他の関連指標		表記	H26	H27	H28		データ所管課等	
審議会等への女性の参画率	単年度	34.3%	33.3%	29.2%		男女共同参画センター		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」

<p>【現状と課題】 配偶者等からの暴力を受けた被害者の相談や自立支援を行うために「加古川市配偶者暴力相談支援センター」を設置しています。配偶者等からの暴力に関する相談のほか、離婚等の悩みや問題についての相談が増加傾向にあるため、相談支援体制の充実を図る必要があります。</p> <p>【課題解決に向けた取り組み】 平成28年度から平成32年度を期間とした「加古川市配偶者等からの暴力対策基本計画」に基づき、「暴力をしないさせない 許さないまち加古川」をスローガンとして、気づきに重点をおいた啓発活動、庁内の関係部局が参加するネットワーク会議の開催による庁内連携の更なる推進や相談体制の充実を図ることにより、精神的な不安を取り除いて、安心して自立した生活が営めるよう支援を行います。</p>

平成29年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

<p>進捗状況 : 「A 期待どおり」</p> <p>加古川市配偶者暴力相談支援センターにおいて、離婚、夫婦関係、配偶者からの暴力等の相談に応じるとともに、女性の自立に向けた支援を行いました。また、平成29年2月に庁内の関係部局が参画する「加古川市庁内DV対策連絡会議」を開催し、「加古川市配偶者等からの暴力対策基本計画」の進捗状況の確認や支援の方法等の協議を行い、総合的な被害者支援の充実を図りました。</p>
--